岩手日報
発行所 株式会社岩手日報社
盛岡市内丸3番7号
郵便番号 020-8622
電話代表019(653)4111
振替口座02360-6-20番
©岩手日報社2013

北朝鮮を強く非難

G8外相会合が声明

ミサイル準備

【ロンドン、ソウル共同】ロンドンで開かれた主要国（G8）外相会合は11日、核開発や弾道ミサイル発射の動きなど挑発的行為を続ける北朝鮮を「最も強い言葉で非難」し、ミサイル発射の自制を求める議長声明を採択した。【解説2面、関連記事2、3面】

聯合ニュースは11日、複数の韓国政府消息筋の話として、ミサイル発射準備を終えたとみられる北朝鮮がミサイルを格納庫から出し入れしていると報道。韓国政府は、不意打ち的に発射する可能性があるとみて米韓の偵察手段を総動員して監視を続けた。

北朝鮮は新型中距離弾道ミサイル「ムスダン」のほか、短距離の「スカッド」や中距離の「ノドン」を載せたとみられる発射用車両を東部・元山北方に配置。車両を随時移動させるなど不審な動きを見せているとされる。日米韓の厳しい監視の隙を突いて発射することで、ミサイルの運用能力を誇示する狙いがありそうだ。

北朝鮮は今回、海上の航行禁止区域も設定せず発射経路が把握できないようにしており、韓国国防省関係者は「日米による迎撃を回避するためではないか」とみている。

G8は声明で、拉致問題を含む北朝鮮の人権侵害に対しても懸念を表明し、今後人権問題解決に向けた取り組みを強化する必要性も確認した。

ロシアのラブロフ外相は10日、外相会合前のケリー米国務長官との会談で、北朝鮮への対応について米国と意見の相違はないと述べた。

声明は、北朝鮮がミサイル発射を強行すれば国際社会で「さらなる孤立を招く」と強く警告し過去の国連安全保障理事会の決議順守を要求。ロシアを含むG8は断固としたメッセージを打ち出すことで結束を誇示し東アジアの緊張緩和を求める立場が明確になったが、北朝鮮の反発は必至だ。

G8議長声明のポイント

- 北朝鮮の核・ミサイル開発の進展を最も強い言葉で非難
- 北朝鮮に過去の国連安全保障理事会決議の順守を要求。挑発行為の自制を促す
- シリアでの化学兵器使用に国際社会は真剣に対応する必要がある
- 北・西アフリカのテロの脅威は増大。テロ発生国の治安改善に向けて包括的対策が重要
- イラン核問題は交渉による平和的解決を求めるが、対話を無期限に続けることはできない

予算案16日に通過へ

衆院 5月半ばの成立確実

衆院予算委員会は11日の理事会で、2013年度予算案に関する質疑と採決を16日に実施する日程で大筋合意した。同日中に衆院本会議に緊急上程し与党の賛成多数で可決、衆院通過する見通し。日程は近く正式決定する。憲法の衆院優越規定のため、5月15日までの予算成立が確実となった。これを受け、安倍晋三首相の再登板後初となる党首討論の4月17日開催が固まった。自民、民主両党は、予算案の16日衆院通過が決まれば17日に党首討論を実施することで合意していた。【関連記事3面】

菅義偉官房長官は党首討論開催について記者会見で「国民も期待しているだろう。国会で決めていただければ従いたい」と述べた。

予算案は憲法の定めで、参院送付30日以内に議決がなければ自然成立する。16日に送った場合、5月15日までに参院が採決しなければ衆院の議決通り成立する。

予算委理事会は、4月16日午前に外交・安全保障をテーマに集中審議を実施する日程でも合意した。13年度予算は昨年末の衆院選の影響で成立がずれ込んでいた。

水揚げした「花見かき」を手に喜びをかみしめる山根幸伸さん＝11日、宮古市の宮古湾の船上

花見かき 復活の春

宮古湾特産

被災後初の水揚げ

譲り受けた稚貝育成

宮古湾特産の大粒殻付きカキ「花見かき」が東日本大震災から2年1カ月となった11日、復活を果たした。開発の中心メンバーの山根幸伸さん(56)＝宮古市赤前＝が被災後初めて水揚げした。津波で船も養殖施設も全て失ったが、宮城県産稚貝を譲り受けるなど多くの支援を心の励みに育ててきた。苦労が大きく実り、感慨深げな山根さん。名物がまた一つ戻り、春の浜は再興へ勢いづく。

養殖施設がずらりと浮かぶ宮古湾。山根さんは「いかだ」からつるしていた高さ約2㍍の養殖ネットを船に積むと一つ一つ確かめるように花見かきを取り出し、かごに入れた。

初日は約300個。身の出来はいい。「ずっと待っていた。応援してくれたみんなの思いが月命日の初収穫につながったのかも」としみじみ語った。

津波でカキも船も養殖施設も全て失った。途方に暮れたが、宮城県の取引先が流失を免れた種員を分けてくれ、2011年7月、仮施設で養殖を再開した。花見かきは2～3年育てて商品となるため、この春に出荷できるのは「最短」だったことになる。

震災前は7人ほどの仲間が生産し、年間2万個以上出荷したこともあったが、被災の影響などで今年出荷するのは2人だけ。今季は約7千個の出荷となりそうだ。

12日は、地元の活性化を願い宮古市内の5店に限って初出荷する。5月上旬にかけ、県内にこだわって、飲食店や宿泊施設で扱われることになる。出荷先の一つ、宮古市の飲食店「無礼講」の柳沢順店主(65)は「震災前の海に戻ってきたと感じる。みんなが宮古の春を代表する食材を楽しみにしていた」と喜ぶ。

山根さんは「開発から携わってきた一人として元に戻す責任があった。ゼロの状態から復活した花見かきが、少しでも被災した人たちの力になればうれしい」と願う。

花見かき 宮古湾で収穫される2～3年ものの加熱用大粒殻付きカキ。桜が咲く春にとるという意味で名付けられた。県宮古水産振興センターによると、漁業者らでつくる「宮古・下閉伊モノづくりネットワーク水産部会」の会員有志らが開発し2003年から試験販売。05年に「春のたより花見かき」の名で商標登録された。冬に収穫したマガキの中から大きいものを選別し、さらに約3カ月間湾内で育てることで、身は通常より2～3倍ほど大きくなる。殻の長さ13㌢以上などの規定があり、味が濃厚なのが特長。

日本人研究者と懇談

県視察団、CERN到着

本県視察団との懇談で、国際リニアコライダーの日本立地への期待感を示す徳宿克夫教授（左）＝11日、スイス・CERN

ILC 東北誘致

【スイス・ジュネーブで奥州支局・熊谷宏彰】県国際リニアコライダー（ILC）推進協議会（会長・元持勝利県商工会議所連合会長）主催の欧州合同原子核研究所（CERN）視察団は11日、ジュネーブの現地に到着した。CERNで活躍する日本人研究者との懇談会で、国際リニアコライダー（ILC）の本県誘致に向け情報交換した。【関連記事4面】

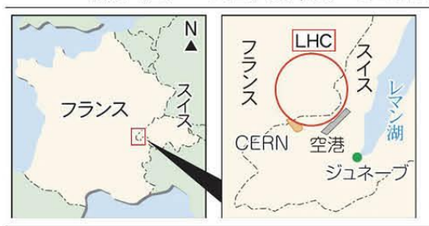
視察団は上野善晴副知事や盛岡、奥州、一関各市長、県内経済団体幹部ら35人。現地側は高エネルギー加速器研究機構（KEK）の佐々木修教授（奥州市出身）や徳宿克夫教授、中浜優CERNフェローらが参加した。

元持会長は「県民は心から研究者を迎えたいという思いだ。生活する上でどんなことを望んでいるか生の声を聞き、受け入れ態勢の準備に生かしたい」とILC誘致の熱意を語った。

徳宿教授は地下100㍍にある全長27㌔の円形加速器（LHC）の最先端研究を紹介し「ヒッグス粒子が見つかり、詳しく調べる必要がある。その世界的なプロジェクトを今できるのは日本しかない」と日本での計画実現に期待感を示した。

家族との現地生活について東京大素粒子物理国際研究センターの春をさらに遠のかせる暴挙を許すわけにはいかない▼かつては憎しみではなく、文化が伝わっていた関係だったのに、と思う。サンシュユもその一つ。江戸時代に原産地の中国、朝鮮半島から薬用植物として半島経由で日本に入った。わが国では早春の光を浴びて黄金色に輝く「春黄金花」の別名で愛されている▼あの国でも、この花は咲いているのか。春の喜びよりも、国民に花言葉の「耐久」を強いるシンボルとして。

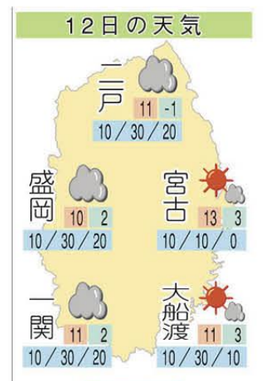
懇談。多くの研究者が生活するジュネーブ近郊のフェルネーボルテール市役所などを訪問する。



風土計

きのうの紙面で、被災地に咲いたスイセンの鮮やかな黄色に目を奪われた。色が少ない時季だけに、日差しを思わせる色が心を弾ませる▼盛岡市の岩手公園ではマンサクがひものような花弁を伸ばしたのに続き、サンシュユも枝いっぱいに小さな花をつけて春の到来を告げている。レンギョウが燃えるような花をつける日も近い。桜前線が到着するまでの間、黄色が北国の春の主役だ▼歓迎されない「黄」もある。中国から飛んでくる黄砂。県内でも春分の日から舞い始めた。日本列島への飛来は5月ごろまで続くが、有害な微小粒子状物質「PM2・5」も付着するという。憂鬱な春になった▼わが国の空は、さらに危うい飛来物で脅かされている。北朝鮮が発射の構えを見せるミサイル。射程の異なる種類を配置したとされ、日本上空を飛ぶ恐れもある。東アジアの春をさらに遠のかせる暴挙を許すわけにはいかない▼かつては憎しみではなく、文化が伝わっていた関係だったのに、と思う。サンシュユもその一つ。江戸時代に原産地の中国、朝鮮半島から薬用植物として半島経由で日本に入った。わが国では早春の光を浴びて黄金色に輝く「春黄金花（はるうこんばな）」の別名で愛されている▼あの国でも、この花は咲いているのか。春の喜びよりも、国民に花言葉の「耐久」を強いるシンボルとして。

12日の天気



降水確率は午前／午後／夜（%）。
天気マークは のち 一時・時々。
予想気温は最高、最低（℃）。

週間天気

	盛岡		宮古		大船渡	
13(土)	20%	12 1	20%	14 3	20%	13 4
14(日)	40%	20 2	20%	20 3	20%	19 4
15(月)	50%	11 4	50%	14 5	50%	14 5
16(火)	30%	13 1	30%	14 3	30%	14 4
17(水)	40%	13 2	40%	14 4	40%	13 4
18(木)	40%	12 4	40%	14 4	30%	13 5

天気マークの右は降水確率。

全国の天気

	札幌	八戸	秋田	仙台
きょう				
あす				
あさって				

	東京	名古屋	大阪	那覇
きょう				
あす				
あさって				

きょうの紙面

2 平壌 希薄な緊張感
3 複数同時発射も想定
4 県が防災サポーター
5 尖閣ルポ 緊迫の漁場
6 338万台をリコールへ
14 大谷、投手で初の先発
20 皇太子ご夫妻悩む出欠
22 企画・山田NPO問題
23 久慈の観光に遊覧船
9声、ひと、交差点 10ラジオ欄 11文化
13生活、運勢 14,15スポーツ 16盛岡・県北
17県南 18沿岸 19くらし伝言板
別刷り 週刊いわてTVガイド

■岩手日報ホームページ http://www.iwate-np.co.jp/
■読者センター（平日9～17時）
▶ファクス 019（653）8206
▶Eメール dokusya@iwate-np.co.jp
ご購読申し込みは… 0120・240840

一歩一歩ともに

この紙面の著作権は岩手日報社が保持しています。無断転載、複製及び配布は禁止します。